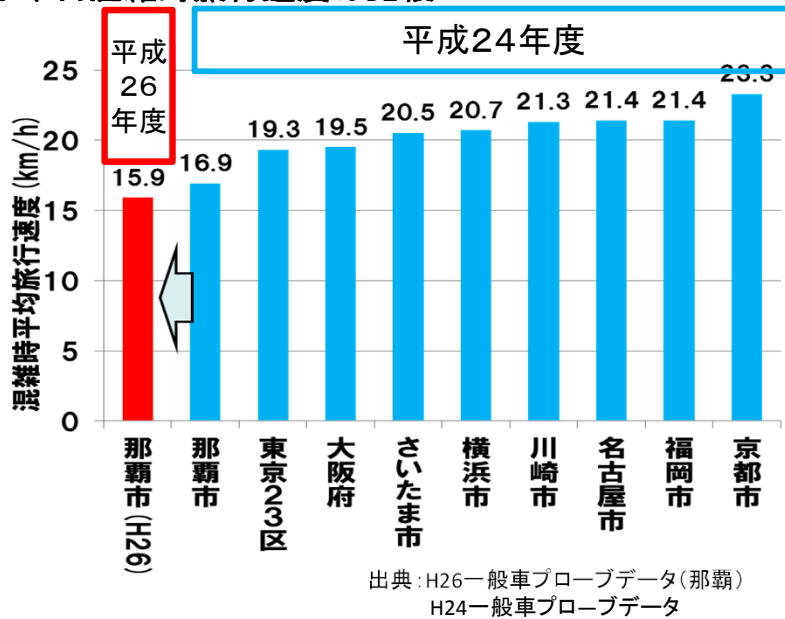


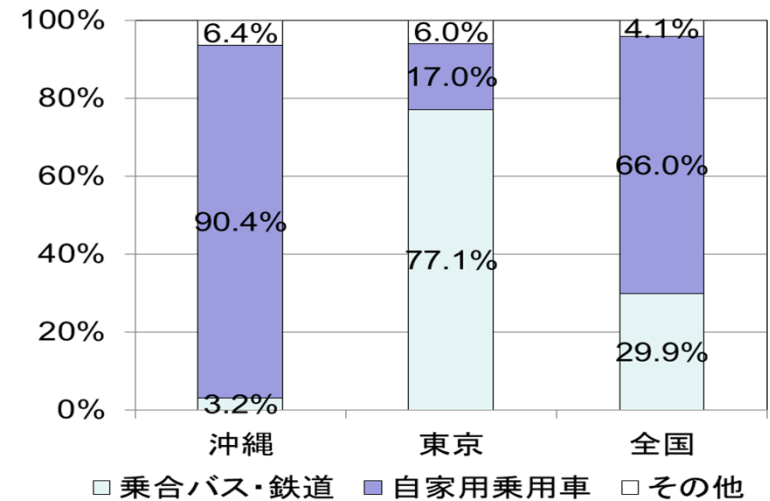
本日の会議の内容

- 那覇市内の平日混雑時平均旅行速度は県庁所在地の中で全国ワースト1。
- 観光客も含め、県民の足は自動車に依存。
- 観光客の利用する交通手段はレンタカーが多く、本島でのレンタカー利用も年々増加

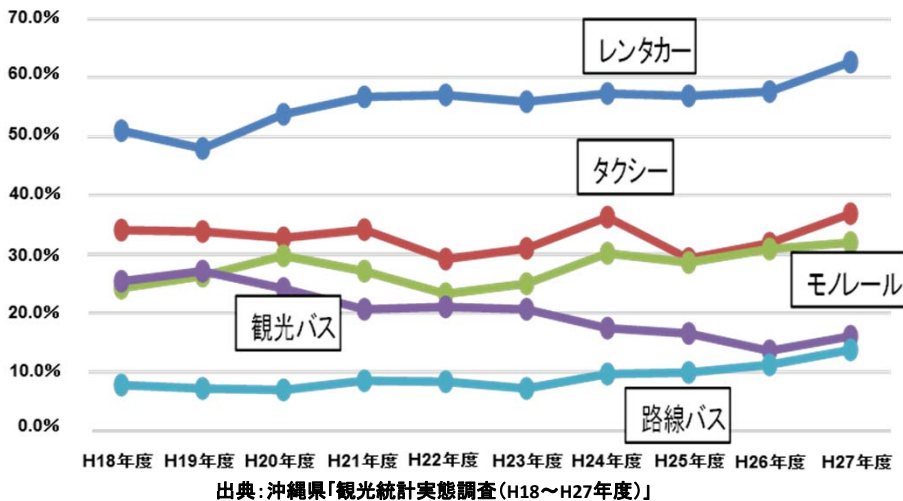
◆平日混雑時旅行速度の比較



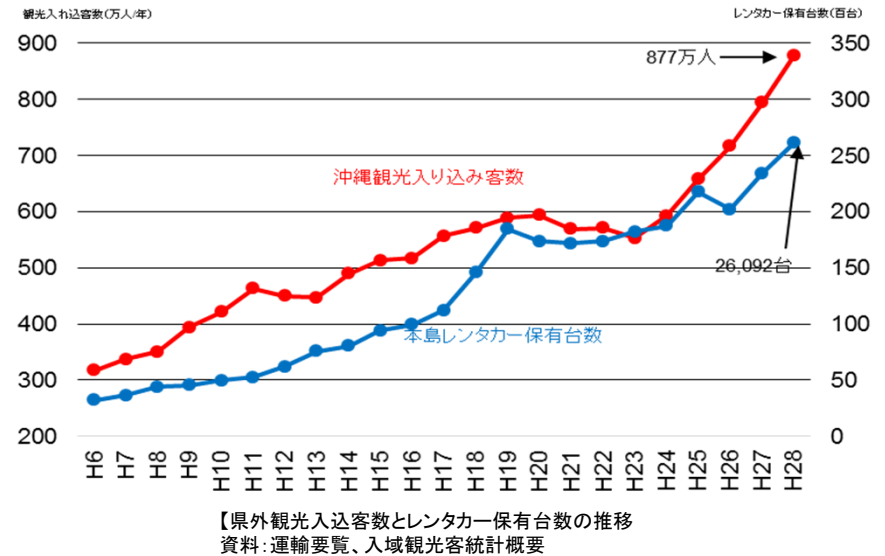
◆機関別旅客輸送分担率



◆沖縄県滞在中に利用した交通手段



◆観光客の移動手段はレンタカー(約6割)



新たな交通環境を考える有識者懇談会

(H28.11.28 とりまとめ)

【検討の背景】

全国一の渋滞

極端なマイカー依存

観光客の急増

高齢化の進展

【目指すべき方向性】

渋滞削減

公共交通、自転車など
多様な移動環境の確保

国際観光競争の増進

産業の生産性向上

【取り組むべき施策(主な対策例)】

道路ネットワーク整備等

- 1) ハシゴ道路ネットワーク等、幹線道路網の整備
- 2) 渋滞ボトルネック箇所における交差点改良及び立体化
- 3) インターチェンジの整備推進

地域の公共交通システムの再編・活性化

- 1) 公共交通の整備・再編(都市モノレールの効率化、**基幹バス(BRT等)の導入**、**バス網の再編**)
- 2) 交通結節点の整備(異なる交通モード間の接続[モーダルコネクト]の強化)
各地域の結節点の創出に向けた戦略的展開(**てだこ浦西駅P&R**、**旭橋BT**)
- 3) 歩行者や自転車などにも優しい道路空間の再編・創出(国際通り再編、自転車利用の促進)

公共交通の使いやすさの向上

- 1) 使いやすさの向上に向けた情報提供システム等の整備
- 2) ICカード等を活用した公共交通利用促進策
- 3) 観光客の公共交通活用対策(結節点の有効活用、**分かりやすい情報提供**、**ビッグデータやIoT活用など最先端の取り組み**、**クルーズ船の観光客受け入れ体制の整備**)
- 4) 賢い道路の利用(県民意識への効果的な働きかけ)

所属	氏名	所属	氏名
沖縄県経営者協会会長	安里 昌利	(公社)沖縄県トラック協会 会長	佐次田 朗
株式会社新垣通商 常務取締役	新垣 美佳	那覇市長	城間 幹子
琉球大学工学部部長	有住 康則	沖縄県中小企業家同友会 代表理事	新城 恵子
沖縄県副知事	浦崎 唯昭	旭橋都市開発株式会社 代表取締役社長	平良 敏昭
沖縄科学技術大学院大学(OIST)教授	北野 宏明	日本旅行業協会(JATA)理事	東 良和

ロードマップ策定経緯／目的

- 全国県庁所在地中で最も深刻と言われる沖縄の渋滞を解消するため、「沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会」の中間とりまとめにおいて、**交通渋滞の削減に向けた62プロジェクトを提言**(H28.11.28)
- 取組を推進するため「沖縄の新たな交通環境創造会議」を設置。
- 会議の議論を経て、沖総局において62プロジェクトについて関係機関で取組内容とスケジュールを共有できるよう**ロードマップを策定**(概ね3年間の対策スケジュールの設定)するとともに、早期の効果発現が期待される**6つの早期成果実現課題を選定**(H29.5.11)

沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会「中間とりまとめ」



沖縄の新たな交通環境創造会議

渋滞削減に向けた62プロジェクト

主要33プロジェクト
(18テーマ)

6つの早期成果実現課題

渋滞ボトルネック対策

- 主要渋滞ポイントの交通状況、周辺の用地について調査し、短期で対策できる交差点を抽出し、対策を実施、検討(45箇所(国道14、県道31))

- H30予定：
- ◆15箇所の対策を実施
 - ◆検討中の箇所の早期の事業化に向けた検討



基幹バスの導入、バス網再編

- H31年度の基幹バス導入を目指し、急行バス実証実験、バス網再編に向けた検討を実施
- 自動走行技術などを活用した沖縄次世代都市交通システム(Okinawa-ART)にむけた取り組みも実施

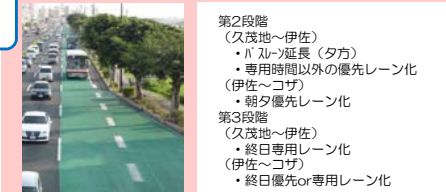
- H30予定：
- ◆実現に向けた具体的取り組みへ着手



バス運行定時性の確保

- 基幹バス区間の定時・速達性を高めるため、全区間(久茂地～コサ)にバスレーン延長拡充を実施
- H30～H31年度に第2段階バスレーン延長、H33年度以降に第3段階バスレーン延長に向けた取組みを実施

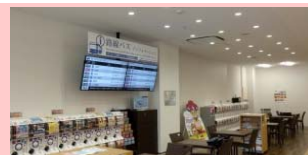
- H30予定：
- ◆基幹バス導入の効果についてミシユシヨリにより検証
 - ◆バスレーン延長の合意形成に向け、PIアンケートを実施



バスターミナル等の整備促進

- 異なる交通モード間の乗り継ぎ、基幹バス及び支線バスの乗り継ぎに必要な交通結節点の整備
- モジュール延長区間でたご浦西駅では、追加整備、P&R等、多様な交通モードの乗り継ぎが可能となる交通結節点を整備

- H30予定：
- ◆利用者が多く見込まれる施設における交通結節点の可能性を検討し、H29年度に構築したサイネージシステムを活用したバス利用促進方策を検討



道路空間の再編 (国際通り)

- 国際通りは過度な自家用車依存から脱却を図るためのシンボリックな道路空間として、歩行者や自転車などにも優しい道路空間の再編
- 創出に向けた検討を実施

- H30予定：
- ◆集配に関する実態調査を実施



県民意識への効果的な働きかけ

- 沖縄県において、毎月1日、20日をノーマイカーデーに設定
- 那覇市において、9月16日から9月22日までをカーフリーデーの期間として設定

- H30予定：
- ◆わった～バス党の取組として、引き続き広報等の啓発活動を実施。また、わった～バス大実験は、期間・規模を拡大し実施



ロードマップの事例 (基幹バスの導入、バス網再編)

~H28	H29		H30	H31	H32~
	現況	前期			
	急行バス実証実験				
		基幹バス導入の検討		実施	
		●浦添北道路・臨港道路浦添線供用			
	バス網の再編検討 (バス事業者との調整)			段階的なバス網再編実施	
	上屋等のバス待ち環境改善(上屋整備)				

沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会
「沖縄の新たな交通環境の創造に向けて(中間とりまとめ)」(H28.11.26)
・交通渋滞の削減に向けた62プロジェクトについて提言



第1回 沖縄の新たな交通環境創造会議(H29.1.22)
・33主要プロジェクト(18テーマ)の選定
・ロードマップを作成することを会議で確認



第2回 沖縄の新たな交通環境創造会議
・主要プロジェクトのうち、早期成果実現課題(6テーマ)を選定
・平成29年度の新たな取り組みについて
・「早期成果実現課題」の具体案を提示



本日の内容

第3回 沖縄の新たな交通環境創造会議
・早期成果実現課題(6テーマ)のH29取組内容、H30取組予定について
・その他施策のH29取組内容、H30取組予定について